

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいさぼーとmoana2(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動に合わせた施設づくりと、必要な支援に柔軟に対応できる職員体制。	・活動に合わせて備品をそろえたり、施設内の区切りをつけるためにパーテーションを設置するなど、必要に応じて環境作りを改善している。	・職員からの支援に対する要望をしっかりと精査し、必要に応じて対応する。
2	・障害特性に目を向けた運動療法の取り組み。	・身体の使い方や力加減などの不器用さを、運動療法を介して改善している。 ・学校での「苦手」を少しずつ減らし「得意」を作るために、定期的に体力測定を行い、数字を意識して向上心を持てるよう支援している。	・計測的な支援をすることでより結果に結びつき、児童が周りから評価されるようなシステムを盛り込んだプログラムを作成していく。
3	・卒業(地域移行)を目標に据えた方針と活動。	・地域移行を目標にするために、受け入れに制限を設ける。そうする事で支援者、保護者共に限りのある期間で、目標に向けてより中身の濃い支援を行えるように意識付けしている。 ・事業所のベースも、勉強機を使用したり活動ごとのベルを学校のチャイム方式にしたり、週に一回クラブ活動を実施したりなど、学校や地域での生活に移行できるように環境設定をしている。	・地域の施設や児童との交流を定期的に図るなど、より地域移行を意識しやすいよう交流を取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニングなどの保護者支援について、まだまだ取り入れきれてない状況。	・研修を受講、または事業所内でのフィードバックが不十分のため、保護者支援が不十分になっている。	・積極的に研修などを行い、保護者支援のためのゆんたく会などを開催していく。
2	専門員(作業療法士や言語聴覚士など)の不在。	・人的な要因なので仕方ない部分もあるが、専門性の高いサービスを行う上で専門員がいる場合とでは、どうしても質の差が出てしまう。	・求人にて募集を行いつつも、支援の質の向上を図って専門性の高い研修などに積極的に参加し、個人の能力を上げていく。
3			